

東海地区協議会 2020年度

副会長会務担当兼第47回J C青年の船「とうかい号」本部長 ご挨拶

副会長（会務担当）兼  
第47回J C青年の船「とうかい号」  
本部長 鈴木 貴

現在、社会は技術的に急激な進歩をとげ、私たちに大きな影響を及ぼしています。例えば、インターネットは世界中の様々な人々との交流を可能にし、AIは人間を超える速度と正確さでの頭脳労働を可能にしました。「コミュニケーション」と「労働」のあり方が大きく変わりつつある今の時代に必要な人材とは、地域社会の抱えている問題を自分事と捉え、それを解決に導く力を持ち合わせ、そしてそれに対して多くの人を巻き込み行動を起こせる人材ではないでしょうか。

J C青年の船「とうかい号」は、乗船者をご輩出頂いた東海地区の多くの方々に支えられ今年で47回目の出航を迎えさせていただきます。事務局主管にあたり、46年間続く国内最大級の洋上研修事業の想いと重みをしっかりと自覚し、覚悟を持ち邁進していきます。

第47回J C青年の船「とうかい号」では、「誰もが輝く未来への挑戦！！～希望溢れる東海への航路（みち）～」をスローガンに掲げ、台湾北部の台北の地へ向け出航します。現在の社会は、技術的に急激な進歩をとげ人としての在り方がこれまで以上に問われる時代となっています。コミュニケーションと労働の在り方が大きく変わる転換期に対応した人材育成を構築することで、社会・企業の未来を考え挑戦できる人材を育成します。

国際交流では台湾の歴史、文化、風土の違いや価値観の多様さを実感し、コミュニケーション能力を育むことの重要性を学びます。さらに世界には共通の諸問題（SDGs）が存在すること、そしてその解決に向けて日々取り組んでいる人たちがいることを知り、日本としてまた日本人としてなすべきことを考える契機にするとともに、困難な問題に自ら挑戦することの大切さを学びます。

最後に、「とうかい号」を経験した青年たちが、未来の地域社会を輝かす人材となり、各地域で社会・企業の成長に大きく係わり「誰もが輝き希望溢れる東海の創造」に繋がることをお誓い申し上げ、挨拶にかえさせていただきます。